

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	好きになる家委員会				
H30採択グループ番号	07	—	0074	—	0453

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	安心・安全・快適な住宅を普及させるべき活動として施工事業者様に対し住宅の国策などの勉強会から一般ユーザーに説明を実施すること。また会としてユーザーイベントを実施しました。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/18	名称	H30年度地域型住宅グリーン化の事業説明	●		
	内容	H30年地域型住宅グリーン化事業の概要説明からグループとしての適用申請の概要説明の実施。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/22	名称	家づくり教室	●		
	内容	グループの施工事業者から告知をもらい一般ユーザー様に無料でグループとして家づくりに必要な項目をわかりやすく学校授業形式にした勉強会(家づくり教室)を実施しました。算数(生涯の費用)・理科(断熱・気密)・社会(耐久・耐震)など授業としては1教科/20分にて開催しユーザー様の反応もひじょうによく建てる前に聞けて良かった声を頂いています。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/22	名称	補助金活用状況進捗報告	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					
	内容	経験施工事業社へ視察会の実施と施工現場の検証見学の実施。					
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	2	発行予定	2
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有				
内容	グループ内での近隣施工構成委員にて業務を遂行します。				
② H30年度における施工構成員の廃業	無				
対応内容					

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有				
内容	全ての施工物件にて各地域区分のZEH適合基準をクリアすることを義務つけています。またさらなる断熱強化を推奨すべきHEAT20 G1/G2基準を推奨しています。合わせて太陽光設置を奨励し省エネルギー住宅をすすめています。				
省エネ化に対する取組 ②					
内容					
BELS工務店の登録数	7 社				

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	好きになる家委員会				
H30採択グループ番号	07	—	0074	—	0453

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/29	名称	平成31年度地域グリーン化事業適用申請概要説明		
	内容	今年のグループ適用申請の送付にあたり施工事業者へ事業及びグループとしての概要説明を実施いたします。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/03	名称	家づくり教室		
	内容	グループの施工事業者を中心に一般ユーザー様対象の家づくり教室を開催します。これから家づくりをされる方に対して家づくりの注意しなければいけない点など学校授業形式にて行います。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/05/29	名称	長期優良住宅完成物件実棟見学	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	5/29には未経験先の事業者も参加していただき早期提案・施工を促します。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	株式会社フォーラム・ジェイ
------------	----------	-----	---------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内で協議の上グループとして近隣施工構成員にて対応を致します。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度も全ての施工物件にて各地域区分のZEH適合基準をクリアすることを義務つけています。またさらなる断熱強化を推奨すべきHEAT20 G1/G2基準を推奨しています。合わせて太陽光設置を奨励し省エネルギー住宅をすすめていきます。気密検査を義務付けC値1.0以下にします。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	改修工事に対しても新築で学んだZEH/HEAT20の考えを活かして省エネルギー実現の提案・施工を推奨していきます。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	好きになる家委員会			
H30採択グループ番号	07	—	0074	— 0453

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	住宅の理想としては年間を通じて快適で安心であり健康に日々を暮らせることだと考えます。そんな理想の家の実現をめざし「住めば住むほど好きになる家」を立ち上げました。愛知県は日本の中でも温厚多湿であり快適に暮らすための対策。来たるべき地震に対する安全対策。季節に応じた温度差によるヒートショックなどの健康に対する対策が求められます。そしてその対策と合わせて省エネルギー住宅で実現を進めて行く必要がある。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明						
主要構造材	土台	有	地産の地域材使用を推奨しますが下記の2点も合わせて使用を推奨します。 ①合法木材証明制度の合法木材・各地域の産地が証明された木材 ②合法木材証明制度の合法が証明された国内産・国外産の合法木材				
	柱	有					
	梁・桁等の横架材等	有					
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無					
造作材	枠材、廻縁等	無					
板材	壁板、床板等	無					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	各施工事業者ごとに調達を原則としますので統一を図ることは難しいですが、安定供給をはかるため生産体制の状況を事務局で把握して各社への資材の欠品など供給をスムーズに行う情報は発信していく。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	高度省エネ型住宅仕様を基本とします。 ①構造用面材とウレタン製の一体化パネルでの施工を標準とする。 ②全棟気密検査の実施。(C値 1.0以下)	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	※30年間の定期点検を実施していく(3ヶ月・6ヶ月・1年・5年・10年・20年・30年を原則) ●各事業者での点検フォーマット(項目)にて対応 ●第三者機関のメンテナンスサポートでは必須項目のメンテナンスフォーマットにて対応	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	瑕疵担保以外の検査はグループとしては義務付けていませんが各施工業者においては検査を実施している先もありグループとして情報共有を計り進めていきたい。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	各施工事業者にて見積・積算を実施しており販売価格・仕入れの統一は難しいが、グループでのモデルプランにて積算の実施したうえで市場価格との格差が無いように検討していきます。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	各事業者の会社によるがグループとして定例会にて取り組みを推進し各会社が設定できるように努力いたします。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	技能のスキルレベルのものさしをつくりグループ内での共有を計り処遇の向上に努めます。
③ 社会保険への加入	有	内容	必ず加入することで各自の身を守ることを推進します。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	業務の事前点検と完了時のかたづけなど安全対策を推奨します。また超過勤務を防ぎ効率よく健康に配慮した職場環境を造ります。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	好きになる家委員会				
H30採択グループ番号	07	—	0074	—	0453

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

番号	有	内容
① 畳の活用	有	今年度の使用予定枚数(1畳換算)30枚 ※グループ 自主目標
② 和瓦の活用	有	今年度の使用予定枚数:60坪 ※グループ 自主目標
③ 襖・障子の活用	有	今年度の使用予定枚数(3×6換算)12枚 ※グループ 自主目標
④ 地域の伝統的素材の活用	有	上記畳・和瓦・襖・障子も含めグループ内で推奨と地域素材活用をすすめていきます。

B 地域の住文化に関する取組み

番号	有	内容
① 地域の伝統的なデザインの継承	有	外壁材は反射光・光沢材は極力さげます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。
② 地域の住まい方の継承	有	外壁材は反射光・光沢材は極力さげます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	外壁材は反射光・光沢材は極力さげます。(周辺環境への配慮) 設備機器(機器・配線)など道路面・公共空間には設置しない。または植栽で配慮。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
設定はしていないが義援金などはグループとして対応しました。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
速やかに被害状況などを確認しグループとして被災状況に応じた対応をしていきます。